

INTERVIEW No.34

せきぐち けんた 関口 絢太さん

2001年 東京生まれ 幼少期に所沢に移住 東所沢小学校、柳瀬中学校、國學院大學久我山高校卒業
 2020年 立教大学に進学。
 2023年 第99回箱根駅伝に初出場し、往路3区を走る。立教大学が55年ぶりに箱根駅伝出場（総合18位）
 2024年 第100回箱根駅伝に2年連続出場し、復路10区を走る。（区間3位、総合14位）
 大学卒業後はSGホールディングスに入社し、実業団として陸上競技に取り組む。

■子どもの頃の思い出は

小さい頃から体を動かすことが好きで、小学校のマラソン大会は毎年優勝していました。5年生のときに親の勧めで本格的に陸上競技を始め、中学校では全国大会に出場しました。所沢航空記念公園は練習することも多くて、今でも時々ランニングするくらい思い入れのある場所です。

■箱根駅伝にはどんな思いで臨みましたか

昨年11月に肺気胸はいききょうになってしまい、大学最後の箱根駅伝を一時は諦めようかと思いましたが、でも、チームのエースとして最後まで諦めたくなかったため、復路10区走者として出場しました。

任されたからには恥ずかしい走りではないという想いを胸に、9人がつないだたすきを受け取りました。10区は他の区間より長い距離を走るため、ラスト3キロメートルはとても苦しかったです。浴道から温かい声援をもらってゴールすることができました。

箱根駅伝という大舞台で、チームメイトに花を持たせてもらい、すごく嬉しかったですし、思い出に残る大会になりました。

■今後の目標は

日本陸上競技選手権大会出場を目標にしています。日本選手権の大会記録を切れる自信はあるので、今は日本選手権大会に挑戦して、その後はニューイヤーズ駅伝での活躍も目指していきたいです。また、海外の試合には積極的に参加したいです。所属するSGホールディングス陸上競技部には強い選手が多いので、日々刺激になりますし、練習も自由なやり方で、自分に合っていると思うので、さらにスピードを磨いていきたいです。

■陸上を頑張っている子どもたちへのメッセージをお願いします

陸上競技に限らず、一つのことを頑張るのはすごく良いことだと思います。自分が楽しくてやりたいと思うことを、一生懸命やってほしいです。



写真提供/立教スポーツ

春

春の訪れと共に、心も身体も新たな活力を得る季節がやってきます。花が咲き、鳥がさえずり、自然が目覚める中で、私も新たな目標に取り組みます。（前田）

北海道生まれで昆虫好きの私。様々な昆虫との出会いが増える新緑の季節、早朝ウォーキング時はフィールド昆虫記モードです。（谷口）

季節の移り変わりの五月中旬。これから、梅雨入りとなり雨の日が増えてきます。気分が滅入ることのないように、いつも笑顔でいたいものです。（入沢）

広聴広報委員会

- ◎秋田 孝 松本 明信
- 石本 亮三 前田 浩昭
- 中井めぐみ 谷口 雅典
- 花岡 健太 亀山 恭子
- 長谷川礼奈 中 毅志
- 大久保竜一 入沢 豊

◎…委員長 ○…副委員長

所沢市議会

検索



次の定例会は6月3日（月曜）から開催予定です。

ところざわ市議会だよりは2月、5月、8月、11月の15日に発行。戸別配布でお届けしています。
 配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎2928-8695 FAX2924-0630 まで。